

(項目)定款第4条に基づき下記の事業を行った。

1. 研究助成事業

1) 若手外国人留学生に対する助成：曾田豊二 SPIO 研究助成金

耳鼻咽喉科学及び関連分野における優れた研究を行う外国人若手研究者を公募したところ、1名の申請があり、審査の結果、以下の1名に助成金108万円を交付した。

(1) Luga Santo Isaac Lomude ルガ サント アイザック ロムデ (南スーダン)

広島大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科学・頭頸部外科 (指導教授：竹野 幸夫)

「鼻副鼻腔の味覚受容体刺激を介した一酸化窒素(NO)の産生機構と抗菌活性の解析」

2) 若手日本人研究者に対する助成：曾田豊二 SPIO 奨学金

海外に留学をする日本人若手研究者を公募したところ7名の申請があり、審査の結果、以下の5名に各々奨学金100万円を交付した。

(1) 稲垣 太朗 (聖マリアンナ医科大学 耳鼻咽喉科)

留学：米国・University of California, Los Angerles (UCLA)

留学目的：以前より研究している培養皮膚、培養粘膜を用いた再生医療の研究を継続したいと考えている。留学先であるUCLA再生外科では培養細胞による再生医療の研究に力をいれているので、充実した研究環境を得る為に留学を志した。

留学期間：2022年9月1日～2024年8月31日

(2) 佐藤 満雄 (近畿大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

留学：米国 Stanford University

留学目的：内耳ラセン神経の再生に関する研究を行う

留学期間：2022年5月1日～2024年4月29日

(3) 河野 通久 (旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

留学：米国・Dana-Farber Cancer Institute, Harvard University

留学目的：頭頸部がんに対する免疫療法の抑制因子の解明の為

留学期間：2022年4月1日～2025年3月31日

(4) 多田 剛志 (東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科学教室)

留学：米国・Georgia State University

留学目的：難治性中耳炎に対する新たな細胞移植を目指す研究に従事してきた。留学先では中耳炎に対する自然免疫応答研究において数多くの功績があり、研究環境が整っている。中耳粘膜におけるシグナル伝達メカニズム解析手法を身につけ、語学力を磨き、国際発信力を高める

ことを目的とする。

留学期間：2022年4月1日～2025年3月31日

(5) 木戸口 正典 (福井大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

留学：米国・Northwestern University Feinberg School of Med.

留学目的：申請者が見出した難治性遺伝子型や難治性エントタイプを軸に、好酸球性副鼻腔炎の難治化の中心的役割を担う免疫細胞を同定し、その分化誘導・免疫応答機序とその薬剤制御機序を分析することで、好酸球性副鼻腔炎の難治化免疫細胞をターゲットとした新規治療法を開発し、再発リスクに応じた個別化医療の基盤を構築することである

留学期間：2022年12月1日～2025年3月31日

### 3) 国際的に有意義な研究に対する助成「コストコ SPIO 研究助成金」

難聴及び補聴器関連の研究から選考を実施し、以下の3件の研究に対して、各々100万円の助成金を交付した。

(1) 聴覚障害の早期診断とリハビリテーション

(国立障害者リハビリテーションセンター病院 耳鼻咽喉科 石川 浩太郎 部長)

(2) Pendred 症候群の病態解析と iPS 細胞創薬

(北里大学医学部 分子遺伝学 藤岡 正人 教授)

(3) 正常聴力成人における聴覚情報処理検査 (APT) 基準値

(九州大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科 石川 一葉 言語聴覚士)

### 4) SPIO Award の表彰

日耳鼻学会刊行の AURIS NASUS LARYNX (ANL) 49 巻 1～6 号に掲載された論文を日耳鼻英文誌委員会が推薦し SPIO 選考委員会および理事会において審査を行った結果、東北大学の吉田 拓矢氏が選ばれた。賞状と賞金 50 万円を贈呈する。表彰式及び受賞講演は第 124 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会・学術講演会 (令和 5 年 5 月 18 日 福岡) において行われた。

Takuya Yoshida : Investigation of the diversity of human papillomavirus 16 variants and L1 antigenic regions relevant for the prevention of human papillomavirus-related oropharyngeal cancer in Japan, ANL Vol.49, No.6, 1033-1041, 2022

## 2. 医学教育事業助成

1) 耳鼻咽喉科学及び関連分野に関する医学教育事業助成について、公募したところ 3 件の申請があり、審査の結果、以下の 3 件に助成金を交付した。

(1) 日本耳科学会 ハンズオンセミナー

安全な耳科・側頭骨外科手術の教育を目的としたハンズオンセミナー 150万円

(2) 日本鼻科学会 ハンズオンセミナー

第61回日本鼻科学会における基礎ハンズオンセミナーならびに臨床ハンズオンセミナー 150万円

(3) 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 国際学術関連

日本にて国際耳鼻咽喉科学会を開催するための交流支援事業 200万円

### 3. 国際学術会議等開催助成事業

#### 1) 国際学術会議等開催助成

①4th World Congress on Endoscopic Ear Surgery (EES2022) (15万円)

開催:2022年12月5日(月)～12月13日(火)京都市(欠畑誠治 山形大学)

②Collegium Oto-Rhino-Laryngologicum Amicitiae Sacrum (CORLAS 2023) (30万円)

開催:2023年8月27日(日)～8月30日(水)東京都(山唄達也 東京大学)

③第17回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会 (50万円)

開催:2022年7月21日(木)～7月22日(金)富山市(足立雄一 富山大学)

④第35回日本口腔・咽頭科学会総会ならびに学術講演会 (15万円)

開催:2022年9月8日(木)～9月9日(金)倉敷市(原浩貴 川崎医科大学)

⑤第67回日本聴覚医学会総会・学術講演会 (50万円)

開催:2022年10月5日(水)～10月7日(金)山形市(欠畑誠治 山形大学)

⑥第32回日本耳科学会総会・学術講演会 (50万円)

開催:2022年10月19日(水)～10月21日(金)横浜市(山唄達也 東京大学)

⑦第81回日本めまい平衡医学学会総会・学術講演会 (15万円)

開催:2022年11月16日(水)～11月18日(金)奈良市(北原 紘 奈良県立医科大学)

⑧第47回日本頭頸部癌学会総会・学術講演会 (15万円)

開催:2023年6月15日(木)～6月16日(金)大阪市(猪原秀典 大阪大学)

⑨第85回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会 (15万円)

開催:2023年6月24日(土)～6月25日(日)東京都(塚原清彰 東京医科大学)

#### 2) 国際学術会議等開催助成のための寄附金募集助成

国際学術会議等 年間37件(40学会)寄附金募集助成(別紙参照)令和4年

### 4. その他

1) ニュースレターを作成して助成事業等の報告を行った。(2023年4月)

2) SPIOクラブを開設し、活動の周知を行った。(第123回日耳鼻総会時 2022年5月 神戸)

3) SPIO 50周年史を発行した。(2022年4月)

4) 理事会5回、評議員会2回、選考委員会3回、開催した。